

202 地歴_地理_1_302 個別_身近な地域の防災を考える②

(学年) 第4学年、(教科・科目) 地理歴史・地理A

個別学習

(単元) 身近な地域の防災を考える②

(本時のねらい)

- ・日本の地形や自然災害の特徴、防災のあり方について考える。
- ・自分の居住している地域にどのような自然災害のリスクがあるのか理解させる。

(ICT活用方法)

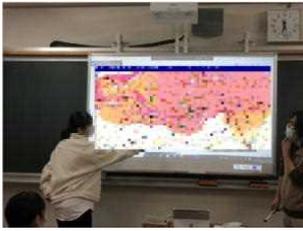
- ・電子黒板の活用
 - 本時の活動内容の提示
 - 生徒発表資料の提示
- ・一人一台端末の活用
 - 生徒の発表資料のまとめ
 - プレゼンテーションソフトによる資料の提示

(本時の展開)

時間	学習活動	指導事項	ICT活用方法
導入 5分	・前回の授業内容を振り返り、本時の目標を知る。		・ハザードマップを電子黒板に提示する。
展開 30分	・生徒各自の身の回りで起こりうる自然災害のリスクや避難場所までの避難経路、避難方法をまとめる。 ・前項でまとめた内容を発表する。	・生徒が活動内容を理解できているか、一人一台端末の操作が適切か、を確認のため適宜机間指導を行う。	・一人一台端末を活用し、前回にアクセスした自分の住んでいる市町村のハザードマップから必要な事項をまとめさせる。 ・一人一台端末を活用し、プレゼンテーションソフトを用いて発表させる。
まとめ 5分	・本時の学習内容を振り返る。	・本時の要点をまとめて説明する。	

202 地歴_地理_1_302 個別_身近な地域の防災を考える②

(授業の様子)



(生徒の反応と課題、改善を要する点)

生徒の一人一台端末を用いての発表となったが、他の教科での活用の成果であろうか、教員よりも視聴覚教材の操作に長けており、大いに反省すべき点があった。今後も積極的な研鑽に努めたい。